

ブランパンがゴンベッサ V

"Planet Mediterranean" (地球・地中海) 探査を支援

ローラン・バレスト氏とのパートナーシップを継続して、ブランパンは 7 月に地中海のフランス沿岸で行われる新しい探査ミッション、ゴンベッサ・プロジェクト第 5 次調査探検に乗り出します。この探査では、飽和潜水と閉鎖式リブリーザーを使ったスキューバが初めて組み合わせられています。その目的は、私たちが良く知っているようで、実は未だに多くの謎に包まれている地中海の隠された秘密に迫ることです。

海洋科学者で、著名な水中写真家のローラン・バレスト氏は、革新的なダイビング器具の使用におけるパイオニアでもあります。2012 年より、ブランパンはゴンベッサ・プロジェクトにおいて、バレスト氏がその才能を発揮できるよう支援してきました。ゴンベッサ・プロジェクトは、今日に至るまで到達不可能で未知の世界と言える深海の生態系を、よりよく理解することを目的としたものです。このプロジェクトではすでに 4 つの主たる探査に加え、レユニオン島、フィリピン、ポリネシアでの付加的なミッションを実現しました。このように、バレスト氏は世界で展開する「ブランパン オーシャンコミットメント」(BOC) の活動に多大な貢献をしているのです。

どのゴンベッサ・プロジェクトも、科学的な神秘やダイビングによる挑戦、そしてこれまで見たことのないような視覚体験を特徴としています。これは、ゴンベッサVにおいても例外ではありません。リサーチセンターの要請する一連の科学実験すべてを時間内に実現し、深海の生態系に光を当てるため、ゴンベッサ・チームは飽和潜水と閉鎖式リブリーザーを併用する、世界初の技術を考案しました。飽和潜水では、プロのダイバーたちがアンビリカルというケーブルで水上チームと繋がっています。そこから呼吸ガスが供給されるだけでなく、水上チームとコミュニケーションを図ることができるため、深海の基地でのミッションの遂行が可能となります。理論的には、深海で彼らが過ごす時間の長さには制限はありませんが、動く範囲は作業場から数メートル以内に限定されます。一方スキューバダイビングでは、その名前が示すようにダイバーたちは自由に動くことができますが、潜水には時間の拘束が伴います。実際、深海で数分過ごただけでも、後の生命の危険を避けるために数時間の減圧が必要となります。この 2 つのテクニックが融合した結果、探査中の減圧の必要性が初めてなくなり、ミッションの最後に 4 日間のセッションを 1 度行うだけで良いこととなりました。それゆえ、バレスト氏と 3 人のスタッフはその野心的な目的を達成するための、1 日に最大 8 時間の探査を実現することができるのです。

以前の探査と同様に、ゴンベッサVに対しても長編ドキュメンタリー映画の制作、展覧会の開催、書籍の出版が予定され、2020年にはローラン・バレスト氏のチームによる発見が世界中の人々に披露されることとなります。明確な気候変化が生じ、さまざまな生物が絶滅の危機にさらされている今日において、手の付けられていない豊かな領域の新たな発見は、明白な希望のメッセージとなることでしょう。

この探査に関するデイリービデオブログを以下よりぜひご覧ください。

<https://www.blancpain-ocean-commitment.com/gombessa-v>